

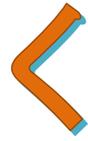
学校教育目標

自ら学び考え  
主体的に行動する  
心豊かな生徒

目指す生徒像

胸をはり  
瞳輝く東中生

# 学校だより 瞳ひとみ輝かがや



第6号 令和4年9月1日 川越市立東中学校長 福田和子

## 「教育が一人前の社会人をつくる」家庭や地域の願いに応える 「守・破・離」の東中三カ年教育

### 二学期始業式の話

### 一部抜粋

2学期がスタートしました。1学期と同じように新しい気持ちで2学期をスタートさせましょう。

1年の中で2学期が一番長い学期です。暑い時期から寒い冬まで季節の移り変わりもあり、部活動などの活動時間も大きく変わる時期でもあります。スポーツの秋、読書の秋、味覚の秋などといえます。スポーツや勉強がしやすい時期となります。夏の間蓄えた力を発揮していきましょう。

皆さんは、夏休み中に宿題をやりましたね。先生方も私も含めて、「研修」として勉強に取り組みました。個人でやる研修もありましたが、東中学校の先生方全員で取り組んだものや小学校の先生方と一緒に取り組んだものもあります。その中の1つを紹介します。

8月23日、慶応義塾大学環境情報学部准教授、研究室の学生14名が来校し、防災に関わる研修を行いました。この研修は、古谷小学校、南古谷小学校の先生方にも来ていただき、一緒に研修をしました。

大きな地震などの災害が起きた時に先生方は、どのように行動すればよいか、生徒の安全を確保するためには事前にどのような準備、打ち合わせが必要かなど命を守るための行動について学び、実際の避難やけが人の搬送、情報をまとめて全校生徒の安全についての確認などを行いました。

多くのけが人が発生した場合、どういう順番で運ぶのか。心配をした保護者が駆け付けた時にどのように対応すればよいか。地域の人や避難してきたときに生徒の居場所と避難者との居場所を分けることなど、いざ、災害が起きた時には、やるべきことが本当に多くあり、それらのことは、先生方全員で共通の理解が必要だということ。併せて、生徒の皆さんも災害発生時にどのように行動するか、理解をしていることが必要だということです。災害は、いつ起こるかわかりません。だからこそ、日頃の準備が必要です。「防災グッズ」などの物の準備とともに「防災の知識」は、常に情報を更新していくことが必要です。

1学期には地震対応の避難訓練や避難姿勢をとるショート訓練を実施しました。これからの時期は、水害の発生に備える準備も必要です。一つ一つのことを着実に身に付けることで安全で安心な学校生活、家庭での生活を送ることができるようにしましょう。

さて、9月10日は、土曜授業です。進路・キャリア学習会として3時間の授業があります。授業の目的は、

- 1 情報化、グローバル化、少子高齢化、成年年齢の引下げなどの社会の変化に対応する「社会の一員」としての意識を高める
- 2 保護者、地域の方から進路・キャリア講話を聞くことで社会人としての自立のための進路選択、進路実現をより身近に考える
- 3 地域の人材を活用し、今まで以上に学校・家庭・地域が連携した教育活動を進めることにあります。それぞれの講師の先生方からは、職業を選択するにあたって努力したことや中学生時代に取り組んだこと、興味を持っていたことなど進路選択につながる話や必要な資格などの情報を聞くことができます。

1時間目は、慶応義塾大学准教授、2時間目、3時間目は、地域で活躍している様々な業種の方の話をお聞かせします。ぜひ、これからの自分自身の進路選択や将来に結びつく何かを発見してください。

皆さん一人一人が「自分にしかないもの」をもっています。その「あなた自身の力」を磨いていくきっかけとなる9月10日、令和4年度の2学期としてください。

